



プロジェクト名称

石垣島を元気にするプロジェクト

プロジェクト活動概要

本プロジェクトは沖縄県石垣島のサンゴ礁保全を目的に活動している。

対象地である石垣島は日本有数のサンゴの生息地であるが、現在、サンゴの死滅が深刻である。死滅の原因は地球温暖化やオニヒトデによる食害など様々である。それらの中でも本プロジェクトでは農地からの耕土流出問題に着目して活動を行う。

プロジェクトの立ち上げから活動内容に至るまで全て学生主体で計画・実行し、メンバーはシステム理工学部の学生 10 人（1 年 5 人、2 年 5 人）で構成されている。活動内容は、埼玉では週 1 回のミーティングや環境コンテストへの参加、また年に 2～3 回石垣島へ渡航し、現地調査やイベントを行っている。現地調査では、WWF しらほサンゴ村、石垣市観光協会、NPO 法人石西礁湖サンゴ礁基金、学校関係者、農業関係者、漁業関係者など、様々な人の支援のもと活動を行っている。

現在行っている活動は、地産地消マップの作製、意識啓発イベントの開催、小学校との活動、流出対策「緑肥」の調査・普及、の大きく 4 つである。将来的にはこれらの活動を継続して行い、私たち外部の人間が継続するのではなく、島民が継続できるようにシステムを確立することで、ゆくゆくは島民による自発的なサンゴ礁保全を目指す。

活動状況報告 & 活動写真など 活動期間：2015 年 1 月 1 日 ～ 3 月 31 日

1 月

1 月の活動では主に、新地産地消マップの作成、春期現地調査へ向けてのミーティング、宗像国際環境 100 人会議に向けての活動紹介動画作成を行った。

新地産地消マップの作成については、夏期現地調査で石垣島の島民の方々に頂いたアドバイスをマップに反映させる作業を行った。またこれまでに作成・配布を行ってきた旧地産地消マップの問題点である「知名度の低さ」、「地産地消に至るまでのシステムがうまく機能していない」、「サンゴ礁保全までのつながりが分かりにくい」などの点を改善し、レイアウトや文章などを一から再作成した。

春期現地調査へ向けてのミーティングについては、今年の春期現地調査で行うべきことを話し合い、活動の目的や目標を決定しながらスケジュールを立てる活動を行った。

このような活動は普段お世話になっている島民の方々と連絡を取りながら進めていった。

宗像国際環境 100 人会議に向けての活動紹介動画作成については、私たちは今年の 12 月に UBrainTV

（「地球環境」と「地域・社会」の 2 つをテーマとして世界で活動を行っている団体を SNS を通じて紹介、発信する活動を行っている団体）の方とお知り合いになり、今年 5 月に福岡県宗像市で開催され



る第二回宗像国際環境 100 人会議にて私たちの活動についてのプレゼンを行う機会を頂いた。

その際に使用する動画の内容について話し合いを行った。

2 月

2 月の活動では主に、春期現地調査で行うイベントについての話し合い、UBrainTV の方との面会、新地産地消マップの試作品の完成、春期現地調査（前半組）の活動を行った。

春期現地調査で行うイベントの話し合いについては、私たちは今年の春期現地調査において石垣島で毎年開催されているサンゴウィークというサンゴに関するイベントの期間中に主催者側として開催することになり、イベントのスケジュールや広報活動、備品などについて話し合いを行った。

イベントで使用する紙芝居やポスターなどの作成、関係者との連絡も同時に行った。

UBrainTV の方との面会については、先ほど記載した UBrainTV の方を大学にお招きし、私たちの活動概要や活動内容、意気込みをお話した。UBrainTV の方からは、UBrainTV 株式会社がどのような事を行っているのか、また宗像国際環境 100 人会議についての説明を聞かせて頂いた。

UBrainTV の方とは今後も連絡を取り合っていく予定である。

春期現地調査（前半組）の活動については、私たちは 2015 年 2 月 20 日～3 月 7 日までの 16 日間、春期現地調査として石垣島に渡航し様々な活動を展開した。2 月 20 日から 2 月 28 日までに行った主な活動としては、28 日に行った緑肥イベントの事前準備として関係者との打ち合わせ、リハーサル、広報活動としてのポスターの配布などである。28 日のサンゴウィーク期間中に開催した「サンゴをまもろうひまわり大作戦」というイベントは、主に小学生を対象としてサンゴ礁保全意識の向上を目的に開催した。このイベントは地元の農家さん、石西礁湖サンゴ礁基金の皆さん、沖縄しまて協会の皆さんの協賛のもとで開催した。イベントの主な内容としては紙芝居、赤土流出実験、サンゴクイズ、ひまわりの種まきである。

イベント終了後には意識の変化を見る為にアンケートの配布を行った。次のイベントの参考にするため関係者との反省会も行った。

また、私たちは今年度ひまわりを用いた緑肥の活動にも力を入れており、今回の渡航では知り合いの島



民の方から畑を貸して頂けることになった。

その畑では様々な緑肥用植物を育て赤土流出抑制効果の検証をさせて頂く予定である。そのことに関する打ち合わせも行った。

3月

3月の活動では主に、春期現地調査（中間組、後半組）、春期現地調査で得られたこと、反省などの共有を行った。

春期現地調査（中間組、後半組）の活動については、イベント開催地に「芝浦工業大学」の看板の設置、イベントで蒔ききれなかったひまわりの種まき、新地産地消マップに掲載予定の直売所への掲載許可、緑肥活動の普及を行った。「芝浦工業大学」の看板設置については、イベントの開催地に私たちの大学の名前が入った看板を設置することで知名度の向上が期待できると考え行った。今後イベントを行う際にも可能であれば看板を設置してゆきたいと考えている。

新地産地消マップに掲載予定の直売所への掲載許可、緑肥の普及活動については、私たちは今回の春期現地調査で石垣島の国道、県道沿いに位置する直売所を全てまわり、経営者のいる直売所ではマップの掲載許可と私たちが今年度力を入れているひまわりを用いた緑肥についての説明を行った。

経営者が不在だった直売所については置き手紙を行った。

新地産地消マップでは、「地産地消の促進による農家の経済的支援」という目的と同時に緑肥の普及も行ってゆく予定である。





今後の活動計画、目標、意気込みなど

来年度、本プロジェクトは、小学生との活動や新地産地消マップの配布、フラワー緑肥の普及を中心に行っていく予定である。小学生との活動については、石垣島の小学校と年間を通して活動を行っていく予定である。3月に実施したイベントでは、小学生など自分たちよりも若い世代とともに活動を行うことで周りに大きな影響を与えるということが改めて確認できたので、今後も続けていきたいと考えている。5月に企画を提案し、9月実施する予定である。

フラワー緑肥の普及については、小学生との活動の際にフラワー緑肥を実施することでより効果的に緑肥を広めていこうと考えている。また、フラワー緑肥に使用するひまわりを自ら育て、より緑肥に適したひまわりを提案できるようにする。

新地産地消マップの配布については、昨年度より改良を進めている、新地産地消マップの本配布を7月に予定している。島民や農家さんからの意見やアイデアを参考にし、地産地消マップのサンゴ礁保全へのつながりやシステムを明確にしたり、手に取りやすい、利用しやすいマップに工夫したりと、内容面でもレイアウト面でも、一から見直し作成している。学生ならではのアイデアを盛り込み、島に根づくマップにしていきたいと考えている。

さらに、来年度は広報にも力を入れたいと考えている。ホームページやSNSで活動報告をするだけでなく、サンゴの情報や協力団体を紹介するなど、より多くの方にプロジェクトや環境に興味を持ってもらおうと考えている。